2024 年 11 月 28 日
株式会社ヘッドウォータース
(コード番号：4011 東証グロース)

株式会社ヘッドウォータースと株式会社 BTM、資本業務提携契約を締結

AI ソリューション事業を手掛ける株式会社ヘッドウォータース（コード番号：4011 東証グロース、本社：東京都新宿区、代表取締役：篠田 庸介、以下「ヘッドウォータース」）は、株式会社 BTM（コード番号：5247 東証グロース、本社：東京都渋谷区、代表取締役社長兼 CEO：田口 雅教、以下「BTM」）は、生成 AI をはじめとする AI 領域における資本業務提携契約を締結しました。

ヘッドウォータースは、創業以来「エンジニアからビジネスパーソンへ」を基軸に AI の社会実装を目指し、AI の利活用を中心とした AI ソリューション事業を展開しております。顧客と対話を重ね、一気通貫で実用性の高い先端テクノロジーを活用したシステムを提供することで、企業の発展に貢献することを志向しています。また、同社は日本マイクロソフト株式会社から AI 分野において最も優れた実績をあげたパートナーとして表彰されるなど AI 領域における高度な技術と豊富な実績を有し、それらを成長の源泉としたアライアンス戦略を掲げて急成長を遂げております。

BTM は、「日本の全世代を活性化する」をミッションに掲げ、IT を活用して地方を活性化したいという思いから、地方に拠点を展開して DX 推進事業を行っています。BTM は創業以来、同業者であるビジネスパートナーの営業担当とのネットワーク構築に注力しており、その連絡先の数を示すアカウント数は 2024 年 9 月末において日本全国で約 8,000 件まで拡大しております。その様々な領域・専門性を持つ企業から日々大量に空きエンジニア情報が送られてくるため、BTM は案件に最適な人材を継続的に提供することが可能であり、その人材調達力（提供力）を強みとしています。また、同社は短期間でエンジニアを育成することが可能なプログラムを有しており、地方に設立するラボ拠点で地元企業の開拓、未・微経験者を採用・育成するなど、地方企業との連携・地方人財の活用についても強みを有しております。

■経緯

両社は 2023 年 2 月 16 日付で協業強化を公表して以来、スマートシティ推進支援サービスの拡大、地方企業の DX 推進等について連携を深めてまいりました。

そのような中、DX 市場においても生成 AI を活用した業務効率化のニーズが広がり、全国の大手金融、製造、交通、建設業界から Microsoft Azure OpenAI Service を中心とした AI 案件が急増し、AI エージェント、プロンプトエンジニアリング、RAG(検索拡張型生成 AI)、マルチモーダル AI、AI ロボティクス、生成 AI プラットフォーム構築の案件連携が急拡大しております。

その結果、AI 領域の強みを有するヘッドウォータースと IT 人材調達力（提供力）及び地方人財活用力の強みを有する BTM の提携を深化・拡大させることが両社の業績向上及び企業価値増大により資するものと判断いたしました。

■提携内容

本提携は、ヘッドウォータース、BTM 双方の業績向上及び企業価値増大を目的とし、市場の急拡大が予想されている AI 技術を中心とした先端テクノロジーの活用を基に両社が協力して以下の内容を推進いたします。

①AI 技術 × 地方企業 DX 推進：

ヘッドウォータースが保有する AI 技術を中心とした先端テクノロジーの知見・実績と BTM が有する日本の各地との繋がりを組み合わせ、地方企業及び地方自治体の DX 推進を加速させる取り組みを推進します。

②エンジニアの採用・育成・調達強化：

両社の強みを活かし、広範囲な採用活動や高度人材の育成を展開することにより、専門性の高い技術・知見を必要とする先端テクノロジー×DX 推進に対して、調達力を高めより多くの顧客へ対応可能な体制構築を目指します。

③ Microsoft の技術分野に関する人材育成:

ヘッドウォータースが強みとする Microsoft Azure（※２）及び Azure AI サービスに関して（※３）BTM へ技術支援を行い、対応可能な人員を両社で増員する活動を展開することにより、拡大を続ける Microsoft Azure 及び Azure AI 市場へサービス提供をより充実させる活動を強化して参ります。

④ 両社による既存業務提携の深化:

迅速な案件・エンジニア情報の交換を目的とした会議体を両社で設置し、両社に集まる DX ニーズに対し、状況に応じた柔軟性の高いリソース計画を協議する環境を整えることにより受注案件の増加を図ります。

■今後について

ヘッドウォータースは BTM との協業強化によって、全国の大手法人顧客の生成 AI ニーズに対してハンズオンで支援し、地方のエンジニアリングリソースを駆使することで AI イノベーションの全国展開を実現していきます。また、東京に一極集中するエンジニア人材の課題解決に向けて、地方の優秀なエンジニア層に対する Microsoft Azure ならびに生成 AI 人材育成へさらに積極的に取り組み、地方分散型の AI 伴走支援を推進してまいります。

なお、本件による当社の当期業績に与える影響は軽微であります。今後開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

以上

【参考情報】

■Azure OpenAI Service とは

OpenAI 社とマイクロソフト社のパートナーシップから生まれた Azure OpenAI Service は、さまざまなユースケースに応じた特定のニーズに合わせて最適化が可能な業界をリードするコーディングおよび言語 AI モデルを提供するサービスです。セキュリティー、信頼性、データプライバシー、ID 認証、有害コンテンツのフィルタなどエンタープライズ企業が OpenAI を利用するための Azure マネージドサービスです。

https://azure.microsoft.com/ja-jp/products/cognitive-services/openai-service

■AI エージェントとは

AI エージェントは、自律的に特定のタスクを実行するインテリジェントなシステムです。これらのエージェントは、複数の AI モデルを組み合わせて、単一のモデルでは困難な高度なタスクを自動で実行します。企業では、電話応対やスケジュール管理、データ入力などの業務を自動化するために利用され、効率的なビジネス成果を達成するのに役立ちます。AI エージェントの国内市場は急速に成長しており、2024 年から 2030 年にかけての年平均成長率（CAGR）は 44.8%と予測されています。

■マルチモーダル AI とは

マルチモーダル AI とは、さまざまな種類の情報を利用して高度な判断を行う AI を指します。LLM（大規模言語モデル）は、マルチモーダル AI モデルによってテキストの枠を超え、ユーザーはテキスト、音声、画像・映像をベースに新しいコンテンツを生成できるようになりました。テキスト、音声、画像・映像などのデータを高度なアルゴリズムと組み合わせ、予測を行い、結果を生成するというアプローチです。 マルチモーダル AI の世界市場は、2023 年から 2028 年にかけて年平均成長率'CAGR)は 35.0%で成長すると予測されています。

■RAG(Retrieval Augmented Generation)とは

Retrieval Augmented Generation（RAG）は、大規模言語モデル（LLM）と外部のデータベースや情報源を結びつけるための新しい技術です。外部の知識ソースを検索し、より強化した文章生成を行います。2024 年から 2030 年にかけて世界の RAG の年平均成長率（CAGR）は 44.7%で成長すると予測されています。

■マイクロソフト ジャパン パートナー オブ ザ イヤー 2024 において 「AI イノベーション パートナー オブ ザ イヤー アワード」を受賞

https://www.headwaters.co.jp/news/microsoft_Japan_partner_year_award_2024.html

■商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

■会社情報

会社名：株式会社ヘッドウォーターズ
所在地：〒163-1304　東京都新宿区西新宿 6-5-1 新宿アイランドタワー４階
代表者：代表取締役　篠田 庸介
設　立：2005 年 11 月
事業内容：AI ソリューション事業
URL　：https://www.headwaters.co.jp

会社名：株式会社 BTM
本　社：東京都渋谷区渋谷 2 丁目 12-19 東建インターナショナルビル別館 5 階
代　表：代表取締役社長兼 CEO　田口 雅教
設　立：2011 年 8 月
事業内容：DX 推進事業
URL　：https://www.b-tm.co.jp/

■本件のお問い合わせ先

株式会社ヘッドウォーターズ
メール：info@ml.headwaters.co.jp